

2022年度 第10回 WEBアンケート 調査報告書

1 「パラスポーツ」

市民局生活文化スポーツ部スポーツ振興課

2 「科学都市ちば」

教育委員会事務局生涯学習部生涯学習振興課

3 「ちば市政だより」

市民局市民自治推進部広報広聴課

4 「平和啓発事業」

市民局市民自治推進部市民総務課

市民局市民自治推進部広報広聴課

目次

WEBアンケート調査結果

	ページ
・ 概要 1
・ 「パラスポーツ」 2
・ 「科学都市ちば」 4
・ 「ちば市政だより」 6
・ 「平和啓発事業」 8
・ その他 10

回答者属性

回答者数	1,477人
------	--------

性別		
男性	707	47.9%
女性	738	50.0%
その他	11	0.7%
未回答	21	1.4%

職業		
会社員	459	31.1%
自営・自由業	65	4.4%
パート・アルバイト	282	19.1%
公務員	71	4.8%
学生	58	3.9%
専業主婦・主夫	252	17.1%
無職	256	17.3%
その他	34	2.3%

年代		
10代以下	34	2.3%
20代	57	3.9%
30代	146	9.9%
40代	298	20.2%
50代	412	27.9%
60代	274	18.6%
70代以上	256	17.3%

居住区		
中央区	261	17.7%
花見川区	212	14.4%
稲毛区	246	16.7%
若葉区	120	8.1%
緑区	194	13.1%
美浜区	373	25.3%
市内在勤・在学	71	4.8%

令和4年度 第9回

調査名	「パラスポーツ」「科学都市ちば」「ちば市政だより」「平和啓発事業」
調査期間	令和4年12月28日(水)午前9時～令和5年1月10日(火)午後5時

概要:

<p>1 パラスポーツ 本市では、障害のある人もない人も、スポーツを通して共に交流できるまちづくりを進めています。パラスポーツに関する意識を把握し、今後の施策の参考とさせていただきます。</p> <p>2 科学都市ちば 科学※に対するイメージや認知度、各種イベントの参加状況などをお聞かせいただき、「科学都市ちば」の実現に向けた参考とさせていただきます。 ※ 学問としての科学のほか、最先端技術や生命、自然、環境など、生活の中で広く活用させている取組み全般を指す。</p> <p>3 ちば市政だより 市政に関するさまざまな情報を皆さまにお知らせする、ちば市政だよりの今後のあり方を検討するため、皆さんの考えをお聞かせください。</p> <p>4 平和啓発事業 本市の実施する平和に関する事業について、皆さんの意識・要望・意見等をお聞かせいただき、今後の施策の参考とさせていただきます。</p>
--

参考URL

https://www.city.chiba.jp/shimin/seikatsubunka/sports/parasports.html
https://www.city.chiba.jp/kyoiku/shogaigakushu/shogaigakushu/scienceeducation.html
https://www.city.chiba.jp/shimin/shimin/kohokocho/saishingou.html
http://www.city.chiba.jp/shimin/shimin/somu/newheiwaindex.html

Q1: はじめに、「パラスポーツ」についてお聞きします。
パラスポーツに興味・関心はありますか。

(1つだけ)(入力必須) [n=1,477]

ある	155	10.5%
どちらかといえばある	481	32.6%
どちらともいえない →Q3へ	381	25.8%
どちらかといえばない →Q3へ	275	18.6%
ない →Q3へ	185	12.5%

Q2: (Q1で「ある」「どちらかといえばある」と回答した方)
パラスポーツに興味・関心をもった主な理由は何ですか。

(3つまで)(入力必須) [n=636]

テレビ、新聞、インターネットなどでパラスポーツのニュース、記事を見た	367	57.7%
会場やテレビ、インターネット配信等で大会を観戦した	296	46.5%
スポーツ自体に興味がある	133	20.9%
体験会などのイベントに参加した	96	15.1%
職場や学校でパラスポーツを体験したり、学習したりした	77	12.1%
身近に障害のある方がいる	57	9.0%
家族や友人、知人からパラスポーツの話聞いた	52	8.2%
身近にパラスポーツに関わっている方がいる	42	6.6%
特になし	6	0.9%

Q3: 今まで、パラスポーツ大会(パラリンピックを含む)を観戦したことがありますか。

(1つだけ)(入力必須) [n=1,477]

ある(会場で)	135	9.1%
ある(テレビ放送やインターネット配信等で)	676	45.8%
ある(会場とテレビ放送やインターネット配信等の両方)	23	1.6%
ない	643	43.5%

Q4: パラスポーツ大会の1つとして「スペシャルオリンピックス」※1や「デフリンピック」※2がありますが、これらの大会を知っていますか。
※1 知的障害のある選手が出場する、オリンピックに準じた競技種目の国際大会で、4年に1度開催される。
※2 聴覚障害のある選手が出場する、オリンピックに準じた競技種目の国際大会で、4年に1度開催される。

(1つだけ)(入力必須) [n=1,477]

知っている(両方とも)	276	18.7%
知っている(スペシャルオリンピックスのみ)	118	8.0%
知っている(デフリンピックのみ)	199	13.5%
知らない	884	59.9%

Q5: どのようなきっかけで、パラスポーツ大会を観戦しましたか。または、観戦してみたいと思いますか。

(いくつでも)(入力必須) [n=1,477]

テレビ放送やインターネット配信があった(ある)	637	43.1%
大会が身近な会場で開催された(される)	325	22.0%
無料で観戦できた(できる)	322	21.8%
きっかけは特にない	197	13.3%
ルールや解説などの実況中継があった(ある)	192	13.0%
大会に関する情報が事前に入手できた(できる)	188	12.7%
大会会場や近隣施設で、自分の興味のあるイベントなどが開催された(される)	118	8.0%
家族や友人、知人に誘われた(誘われる)	109	7.4%
パラスポーツの体験会などに参加できた(できる)	97	6.6%
職場や学校などで誘われた(誘われる)	74	5.0%
パラアスリートと交流できた(できる)	48	3.2%
その他()※50字以内	55	3.7%
観戦してみたいとは思わない	219	14.8%

Q6: 障害のある人もない人も共にスポーツを楽しむためには、どのような取組みを進めると良いと思いますか。

(いくつでも)(入力必須) [n=1,477]

障害のある人もない人も一緒に参加できる大会やイベント等の開催	698	47.3%
身近な会場で障害のある人もない人も一緒に大会を観戦できる	694	47.0%
地域で開催される運動会等の行事にパラスポーツを取り入れる	482	32.6%
パラスポーツの体験会の実施	437	29.6%
パラスポーツを指導できる人材の育成	323	21.9%
一般のマラソン大会等における障害者部門の設置	244	16.5%
パラアスリートによる講話、実技披露の実施	239	16.2%
その他()※100字以内	50	3.4%

- Q7: 次に、「科学都市ちば」についてお聞きます。
本市では、産業界、大学などの研究機関、市民団体などが連携を深め、人材の輩出や産業・技術の振興などを行い、未来に希望を持てるまちづくりとして「科学都市ちば」を目指していますが、この取組みを知っていましたか。

(1つだけ)(入力必須)		[n=1,477]	
知っていた(内容も知っていた)	193	13.1%	
知っていた(内容は知らなかった)	319	21.6%	
知らなかった	965	65.3%	

- Q8: 千葉市科学館(中央区中央4-5-1(きぼ一内))に行ったことがありますか。

(1つだけ)(入力必須)		[n=1,477]	
ある →Q10へ	1,001	67.8%	
ない	476	32.2%	

- Q9: (Q8で「ない」と回答した方)
その理由は何ですか。

(いくつでも)(入力必須)		[n=476]	
行くきっかけがない	279	58.6%	
千葉市科学館を知らない	83	17.4%	
場所がわからない	77	16.2%	
場所が不便	70	14.7%	
子ども向けの施設だと思う	61	12.8%	
駐車場が有料	54	11.3%	
時間がない	53	11.1%	
料金が高い	30	6.3%	
子どもが小さい	21	4.4%	
科学に興味がない	20	4.2%	
展示物に魅力がない	12	2.5%	
プラネタリウムの番組に魅力がない	6	1.3%	
その他	15	3.2%	

- Q10: 本市では、「科学都市ちば」推進の一環として「科学フェスタ※3」を開催していますが、知っていましたか。
※3 日常生活の中で科学・技術を身近に感じることができる総合的な科学の祭典。令和4年度は10月8日(土)、9日(日)にきぼ一でメインイベントを開催し、科学体験ブース、実験・工作教室、科学館無料開放などを実施。

(1つだけ)(入力必須)		[n=1,477]	
知っていた(内容も知っていた)	254	17.2%	
知っていた(内容は知らなかった) →Q13へ	234	15.8%	
知らなかった →Q13へ	989	67.0%	

- Q11: (Q10で「知っていた(内容も知っていた)」と回答した方)
10月8日(土)、9日(日)にきぼ一で実施した「科学フェスタ2022」のメインイベントに参加しましたか。

(1つだけ)(入力必須)		[n=254]	
参加した →Q13へ	31	12.2%	
参加しなかった(できなかった)	223	87.8%	

Q12: (Q11で「参加しなかった(できなかった)」と回答した方)
その理由は何ですか。

(いくつでも)(入力必須)

[n=223]

時間がなかった	100	44.8%
都合が合わなかった	74	33.2%
感染症予防のため	40	17.9%
子ども向けのイベントだと思った	38	17.0%
行ききかけがなかった	36	16.1%
場所が不便	31	13.9%
駐車場が有料	31	13.9%
混雑していそいだと思った	24	10.8%
開催日時などを知らなかった	16	7.2%
事前申込の人数がいっぱいだった	9	4.0%
子どもが小さい	7	3.1%
科学に興味なかった	5	2.2%
内容が難しそうだった	4	1.8%
イベントに魅力がなかった	3	1.3%
その他	6	2.7%

Q13: 科学に関することで、本市に期待するものは何ですか。

(いくつでも)(入力必須)

[n=1,477]

子どもの科学への興味を高める取組み	960	65.0%
環境問題への取組み	591	40.0%
産業振興への支援(先端技術開発など)	581	39.3%
学校教育における科学分野の充実	487	33.0%
科学の学習機会充実(市民向けの講座など)	474	32.1%
大学や企業との共同研究	381	25.8%
科学館の展示物の充実	378	25.6%
企業・研究機関の取組みの紹介	282	19.1%
特にない	90	6.1%
その他()※50字以内	14	0.9%

Q14: 次に、「市政だより」についてお聞きします。
市政だよりをどれくらい読んでいますか。

(1つだけ)(入力必須)		[n=1,477]	
毎号読んでいる	813	55.0%	
ほとんど毎号読んでいる	275	18.6%	
たまに読んでいる	236	16.0%	
ほとんど読まない	90	6.1%	
読まない、市政だよりを知らない →Q21へ	63	4.3%	

Q15: 市政だよりについてどのように感じますか。

(1つだけ)(入力必須)		[n=1,414]	
読みやすい	443	31.3%	
普通	925	65.4%	
読みにくい	46	3.3%	

Q16: 市政だよりを読んで「良い」と感じる理由を全て選んでください。

(いくつでも)(入力必須)		[n=1,414]	
役立つ情報が多い	642	45.4%	
一部がカラーで見やすい	565	40.0%	
文字サイズがちょうどいい	558	39.5%	
市政への理解・関心が高まる	484	34.2%	
写真やイラストが見やすい	422	29.8%	
文字が見やすい	346	24.5%	
情報が探しやすい	219	15.5%	
特集に魅力がある	158	11.2%	
レイアウトがわかりやすい	152	10.7%	
言葉づかいがわかりやすい	138	9.8%	
「良い」ところは1つもない	31	2.2%	
その他() ※100字以内	32	2.3%	

Q17: 市政だよりを読んで「悪い」と感じる理由を全て選んでください。

(いくつでも)(入力必須)		[n=1,414]	
情報が探しにくい	325	23.0%	
役立つ情報が少ない	180	12.7%	
特集に魅力がない	160	11.3%	
市政への理解・関心につながらない	135	9.5%	
レイアウトがわかりにくい	118	8.3%	
文字サイズが小さすぎる	101	7.1%	
文字が見にくい	51	3.6%	
写真やイラストが見にくい	35	2.5%	
言葉づかいがわかりにくい	34	2.4%	
文字サイズが大きすぎる	6	0.4%	
「悪い」ところは1つもない	538	38.0%	
その他() ※100字以内	83	5.9%	

Q18: 市政だよりの発行について、最適だと思う回数を教えてください。

(1つだけ)(入力必須)		[n=1,414]	
月1回(現在と同じ。)	1,385	97.9%	
月2回(現在よりもコストが年間5,000万円増えます。)	29	2.1%	

Q19: 市政だより1号あたりの情報量について教えてください。

(1つだけ)(入力必須)		[n=1,414]	
もっと少ない方がよい(16ページ。現在よりもコストが年間約1,000万円減ります。)	424	30.0%	
現在と同じでよい(24ページ。)	951	67.3%	
もっと多い方がよい(32ページ。現在よりもコストが年間約3,000万円増えます。)	39	2.8%	

Q20: 市政だよりの記事で主に読む分野を教えてください。

(3つまで)(入力必須)

[n=1,414]

観光・イベント	921	65.1%
スポーツ・文化	450	31.8%
環境(ごみ・リサイクル含む)	442	31.3%
行政サービス・手続	413	29.2%
地域交流・コミュニティ	349	24.7%
子育て・教育	320	22.6%
防災・防犯	223	15.8%
福祉	220	15.6%
区政(区版)	125	8.8%
市政運営(財政・行政改革など)	124	8.8%
産業・経済	86	6.1%
都市基盤	53	3.7%
連載	14	1.0%
その他() ※30字以内	26	1.8%

- Q21: 最後に、「平和啓発事業」についてお聞きます。
本市が戦時中、空襲で被害※4にあったことを知っていましたか。
※4 特に昭和20年6月10日と7月7日(七夕空襲)に中心市街地(現在の中央区・稲毛区の一部)に大きな空襲被害を受けた。

(1つだけ)(入力必須) [n=1,477]

日付・場所とも知っていた	128	8.7%
本市で空襲があったことは知っているが、日付・場所は知らなかった	691	46.8%
知らなかった	658	44.5%

- Q22: 本市では、戦争の悲惨さ、平和の大切さを伝えるために、次の事業を行っています。
知っていた事業はありますか。

(いくつでも)(入力必須) [n=1,477]

千葉空襲写真パネル展	578	39.1%
平和都市宣言	369	25.0%
戦跡めぐりウォーキング	237	16.0%
平和啓発パンフレット「考えよう平和の大切さ」の配布	107	7.2%
平和アニメの上映・戦災体験講話会	97	6.6%
千葉空襲・戦争体験談などのDVD・ビデオ、写真パネルの貸出	91	6.2%
平和の折り鶴の募集(広島・長崎への千羽鶴送呈)	75	5.1%
平和都市宣言記念像の設置	37	2.5%
平和首長会議への加盟	23	1.6%
知っている事業はない →Q24へ	646	43.7%
その他()※30字以内	8	0.5%

- Q23: (Q22で「知っている事業はない」以外を回答した方)
Q22で回答した事業を知ったきっかけは何ですか。

(いくつでも)(入力必須) [n=831]

市政だより	525	63.2%
パネル展など、開催時に通りがかって知った	295	35.5%
市ホームページ	177	21.3%
チラシ	76	9.1%
パンフレット	57	6.9%
テレビ・新聞	57	6.9%
家族・知人から聞いた	54	6.5%
市Twitter	23	2.8%
ラジオ	9	1.1%
市Facebook	5	0.6%
その他()※30字以内	31	3.7%

- Q24: 市内の戦跡※5を知っていましたか。
※5 特に轟町・作草部・椿森・弁天地区に多くあった軍事施設の跡や、空襲や復興の碑等。

(1つだけ)(入力必須) [n=1,477]

名称・由来とも知っている	177	12.0%
戦跡があることは知っているが、名称・由来は知らなかった	445	30.1%
知らなかった →Q26へ	855	57.9%

- Q25: (Q24で「名称・由来とも知っている」、「戦跡があることは知っていたが、名称・由来は知らなかった」と答えた方)
どこで知りましたか。

(いくつでも)(入力必須) [n=622]

実際に戦跡を訪れた	228	36.7%
市ホームページ	202	32.5%
家族・知人から聞いた	153	24.6%
Q22の事業への参加	68	10.9%
学校で習った	49	7.9%
その他()※30字以内	64	10.3%

- Q26: 本市では、毎年7月から8月に市内11か所の公共施設や商業施設で「千葉空襲写真パネル展」を開催しています。
「千葉空襲写真パネル展」をご覧になったことがありますか。また、ご覧になったことがある方は、主にどの会場でご覧になりましたか。

(1つだけ)(入力必須) [n=1,477]

ある(そごう千葉店)	145	9.8%
ある(きぼーる)	130	8.8%
ある(区役所(中央区以外))	119	8.1%
ある(生涯学習センター)	92	6.2%
ある(中央コミュニティセンター)	25	1.7%
ある(ワンズモール)	19	1.3%
ある(フレスポ稲毛)	11	0.7%
ない	936	63.4%

- Q27: 本市では、戦後80年(2025年)に向けて、平和に関するデジタル資料を市ホームページに展示する「デジタル平和資料館(仮称)」の開設を検討しています。
どのようなコンテンツがあったら利用したいと思いますか。

(いくつでも)(入力必須) [n=1,477]

千葉空襲写真	825	55.9%
戦跡紹介	750	50.8%
千葉空襲・戦災体験談(インタビュー映像)	477	32.3%
戦災資料など戦争に関する物品紹介	419	28.4%
戦争の悲惨さや平和の大切さを伝えるアニメ	398	26.9%
戦争の悲惨さや平和の大切さを伝える漫画	275	18.6%
利用したいコンテンツはない	251	17.0%
その他()※50字以内	29	2.0%

その他

Q5: どのようなきっかけで、パラスポーツ大会を観戦しましたか。または、観戦してみたいと思いますか。

【その他（55件）】

・ 観戦をした事がない。(8件)
・ 特に興味なし。(4件)
・ 東京オリンピックのテレビ放映。(2件)
・ 会場のボランティアをした。(2件)
・ 知人がパラリンピックに出場した。(2件)
・ 特に無い。(2件)
・ マラソンのパラスポーツは、大会によっては視覚障害者と健常者が同じ条件で走る大会があるので知った。
・ 1998年長野冬季パラリンピックに企業スポンサーとして関わった折に、オフ日に会場観戦した。
・ バasketボールが好きで、パラスポーツの情報が入ってきたので観てみようと思った。
・ 以前、生涯学習センターで行われたパラアスリートの講演を聴いて興味を持ったので。
・ 障害者福祉施設でのボランティアで訪問した時に、ボッチャと一緒に体験したこと。
・ 職場に障害者がいるため障害者の日常生活等に関心を持つようになった。
・ 身近で気楽に見学に行ける大会でなくても、競技会があればよいのでは。
・ 東京オリンピック前にボランティアの募集があったので、参加しました。
・ 応援してるバスケやフットサルチームのハーフタイムで告知があった。
・ スペシャルオリンピックの内容は知っているが、観たことはない。
・ テニスが好きなので、パラテニスの強い人に興味がありました。
・ 子どもが知的障害者で子どもと施設から誘われて観戦した。
・ パラリンピックのボランティアとして活動時、観戦できた。
・ 芸人など、ゲストが盛り上げてくれるイベント方式。
・ 芸人、有名人を呼びイベントと組み合わせた場合。
・ テニスが好きなので、車いすテニスであれば。
・ 子どもの経験になるようなイベントがあれば。
・ 東京パラリンピックのボランティアをした。
・ 障害を乗り越えスポーツに打ち込む姿。
・ 芸人が関わっていて興味を持った。
・ 長野冬季オリンピックに関わった。
・ 国体のボランティアに参加した。
・ ニュースで取り上げられた時。
・ 仕事をしている時に参加した。
・ 通訳ボランティアをしたとき。
・ 特に水泳、バスケットボール。

・ ダイジェスト版で結構です。
・ 練習を見て、興味がわいた。
・ ボランティアに参加した。
・ 町内会のイベントで参加。
・ 東京オリンピックで見た。
・ パラリンピック開催で。
・ 近隣で開催されれば。
・ 子どもが出場した。
・ 有名人が来たので。

Q6: 障害のある人もない人も共にスポーツを楽しむためには、どのような取組みを進めると良いと思いますか。

【その他（50件）】

・ 特にありません。（8件）
・ 積極的にやる必要はない。（2件）
・ 身近にそういう方と触れ合う機会がないと、興味を持つことも知ることも無い様に感じます。まずはそういうものがあるんだ、見ていて楽しいんだという興味を引く所から始めるのが良いのではないかと思います。
・ 小学生、中学生、高校生の障害者スポーツ大会へのボランティア参加を授業の中に取り入れ、生徒のうちから理解を深めさせれば、将来、例えば20年先には区別なく同時スポーツ大会が開催できるだろう。
・ 障害者枠も含めつつ小規模なスポーツ大会を定期的に来るだけ身近で開催して頂く事が大事です。まず知っていること、身近である事が重要。小さい子が参加出来ると皆んな来やすいかも。
・ 「パラ」の線引きは社会の許容度によるから「パラスポーツという言葉」がなくなるのが理想。「身障者の競技」は低許容社会での競争を甘受させる象徴にみえて好きではない。
・ 有名人などが、推奨したり、講演したりして、そこに実際の選手などと触れ合う機会が無料で、近くで何回も開催されて行けば、全く関心の無い人へも、広がって行くのでは。
・ 身近にスポーツのできる屋内施設が必要。そこで健常者も障害者も場所や時間を分けて実施できるようにすべき。身近に障害者を受け入れる社会を目指せ。
・ 競技によっては、障害者と健常者が同じ土俵で競う事ができるようにする。例えば、車いすラグビーでは健常者も車いすを使用する。
・ 子供の頃から身近に接する機会を設ける。支援にかかる経済的負担に合理性があること。受け入れない自由を補償すること。
・ 障害があっても特別視されず、その場になじめる環境作りが必要かと思います。スポーツでなくてもいいような気もします。
・ 千葉県や市主催の大会をやって欲しい。例えばアクアラインマラソン(障害者8名参加や千葉市長杯等の大会)。
・ 民放等で競技を放送すると共に、その放送を見たら何か特典をつける。また、スターを育て、アイドルを育てる。
・ ウォーキング大会、登山交流会等、身近なレクリエーションの中で交流できると繋がりを続けやすいと考える。
・ パラスポーツという枠組みをやめること。ユニバーサルとかの方が誰でも参加しやすい。

・ 共にスポーツを楽しみたいと思う人たちで取り組みを考えて実施するのが一番だと思う。
・ 障害種別ごとに健常者とハンデを感じずに行えるスポーツの開発や特別ルールの設定。
・ パラスポーツという概念をなくし、他のスポーツと同じ1スポーツとして楽しむ。
・ 学校の同級生に障害者がいて学生のと時から一緒に体験していればできると思う。
・ 障害の有無に関わらず、その人が楽しいと感じられるスポーツを見つけること。
・ 接する機会が増えれば、自然なこと、当然なことと感じるようになると思う。
・ 日常生活のサポートが最重要で第一、スポーツは第二でよいのではないか。
・ いつでも、だれでも、どこでも参加できるスポーツであればと思います。
・ 子ども向けのパラスポーツイベントがあれば親子で参加しやすい。
・ パラスポーツのイベントを、普通に競技として盛り上げること。
・ 身障者も健常者も一緒に試合が出来るルールのスポーツを作る。
・ 障害のある人にどう接する、過ごすという意識面からの改善。
・ 支援者の育成、とくに視覚障害アスリートのガイドの育成。
・ 鉦や太鼓で奨励するものではないと思う。自然体でよい。
・ 障害を感じさせないような機材等の技術開発の促進。
・ 学校教育の中でパラスポーツに関する教育をする。
・ インクルーシブスポーツの推進と環境づくり。
・ わざわざ共にスポーツをする必要はない。
・ メディアでの番組出演の機会を増やす。
・ メディアによる話題を盛り上げる報道。
・ 障がいのある人が外に出やすい環境。
・ 申し訳ありませんが分かりません。
・ 学校の授業などで取り入れる。
・ 就学時の統合教育を推進する。
・ 幼少期からの共生。
・ パラ競技の周知。
・ 練習会場の提供。

Q13: 科学に関することで、本市に期待するものは何ですか。

【その他（14件）】

・	子どもばかりでなく、年齢、性別、障害、そういったものの垣根なくだれでも利用できる科学館にしてほしい。
・	きぼ一歩の規模でなくても良いけど、科学を楽しめる施設がもっとたくさん身近に出来るといい。
・	金。充実した研究ができれば優秀な人間が育つ&集まる。ただ悲しい哉、転落途上国では難しい。
・	「科学都市ちば」で目指しているのは格好だけ？特に今回の科学館のリニューアルはひどすぎる。
・	商業施設で体感イベント。Apple店舗招致(Today at Appleがある)。
・	きっかけや造形を深めるためにも もっと身近に千葉市の図書館の受け渡し場所の充実を。
・	科学やDXなどで社会課題解決に取り組む市民活動(NPOなどへの支援や、機運醸成)。
・	家庭との繋がり(もっと生活に身近に感じる要素を紹介してほしい)。
・	先端技術の試作品を市民が優先的に使えるような取り組み。
・	美浜図書館への科捜研の女 コンプリートbookの配架。
・	小学生の科学に触れる機会を学校で充実させてほしい。
・	家族で長時間滞在するには駐車料金が高すぎる。
・	千葉市として特色あることを深堀する。
・	研究者の待遇向上。

Q16: 市政だよりを読んで「良い」と感じる理由を全て選んでください。

【その他（32件）】

・	普通。(4件)
・	特になし。(3件)
・	月に1回の発行になりじっくり読むようになりました。月に2回発行の時は読むのが正直面倒に思う時がありました。
・	最終ページが区の情報になっていること(一度、他の区の広報誌が入っていましたが、公民館でもらいました)。
・	親しみやすいイラストや文字、フォント、色の検討を。市政だよりのネーミング(呼称・愛称も公募しては?)。
・	ご担当者の発信しよう伝えようとする意欲が伝わり、市政理解のモチベーションになること。
・	読んだ後、新聞を取らない時代に新聞紙代わりに使えるので今のまま紙でもお願いします。
・	紙質が悪すぎると思う。再生紙でももっと薄くて扱いやすい紙はもっとあるはず。
・	イベントの情報を得ることができるのでいつもかかさずチェックしています。
・	動物が特別に好きなわけではないが動物公園の紹介は毎回癒される。
・	情報発信に積極的なので、千葉を愛そうという気持ちが芽生える。

・ 市からのお知らせ,募集,イベントなどの情報が得られる。
・ 表紙(裏にも具体的な目次がほしい。現在は項目名のみ)。
・ 掲載の締切が早くて、企画の決定が間に合わない。
・ イベントについてよくまとまっているから。
・ おそらく他の自治体に比べて情報量が多い。
・ イベント情報を得るために読んでいます。
・ 新聞未購読世帯にも配付されること。
・ 表紙の市長の言葉に注目してます。
・ イベントの情報収集に役に立つ。
・ チケットが当たる抽選情報。
・ 参加出来る募集欄が多い。
・ 市民への情報提供の充実。
・ 良いとか考えた事がない。
・ 接する機会がない。
・ 興味がない。
・ 懸賞がある。

Q17: 市政だよりを読んで「悪い」と感じる理由を全て選んでください。

【その他（83件）】

・ 特にない。(5件)
・ 情報量が多すぎて見づらい。(3件)
・ 子供向けイベントのページを作って欲しい。(2件)
・ 申込先、問合せ先がわかりにくい。(2件)
・ 紙面の施設に住所記載がない(そもそも場所を知らない市民も多いこのスマホ時代に市外局番からの記載がない。政令市で広域化しても未だ前例踏襲での昭和レベルの行政編集感覚)。本当にやめて頂きたい。
・ 特集や市長の挨拶に必要な情報はないため不要。他の情報を載せたほうが良い。カラーの色数を減らしてコスト削減した方が良い。精彩なカラーページはQRコードを通してWEB版を読めば良い。
・ スポーツチームの紹介がありますが、チーム名だけで何のスポーツなのか明記されておらず、応援のしようがありません。そこが大事だと思うので、しっかり競技名を明記してほしい。
・ 掲示板関連について。文字数制限のせいか、内容が省略されすぎて、本来伝えたい内容が曲げられて伝えられることがある。最終掲載前に、依頼者と内容確認を行うべきである。
・ 市政だよりそのものではないが、花見川区横戸町に住んでいる者にとって、紹介されるイベントの会場が遠くて不便。姿勢の取り組みが一部地域に偏っている。
・ 読者を層別してタイムリーな関心を捉える。特集は別コンテンツにするか初級中級上級をローテする。読者視点でみることで広報意欲の空回りを防ぐ。
・ ライブ感や熱気をあまり感じないので、市と市民との関わりや、地域活動に積極的に取り組んでいる市民や団体の様子など掲載してはどうでしょう。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 配布されている場所が分からないので、たまに家族が持ってくるのを読んでいます。デジタル版の配信をして欲しい。紙での配布は無駄も多いので。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 役立つ情報が少ない、特集に魅力がないというのは常にではなく、とても必要な時もあります。無くなってほしい訳ではありません。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 文字が小さく情報が多くて一気に全部読むには時間や集中力が続かなくなってきたと感じています。年齢的な問題もあるのですが。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 内容ではありませんが、市政だよりが届かないので同じ町内の実家からもらって読んでいます。投函基準があるのでしょうか。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 何をやっているかは紹介されているが、市の基本姿勢・基本思想のようなものが感じれず、長期的な方向性が感じられない。
<ul style="list-style-type: none"> ・ もう少し教育に関する内容を読みたい。教育に関する別の便りがあるのは知っているが、受け取れる場所がまだ少なくて。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報が多いのもう少し簡略化して、記事の対象年齢の考慮したうえで、詳細はインターネットで照会も良いと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 概ね読みやすいと思いますが、大上段からの視点だけでなく、身近な話題をもっと増やしたらなおベターと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・ チケットプレゼントに応募しようとしたら紙面が届いてから締め切りまでの期間が短くすでに締め切りされていた。
<ul style="list-style-type: none"> ・ とても読みやすいです。敢えて言うなら、ホームページへの誘導などで、頁数を減らしてもいいかもしれません。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 紙媒体、PDF媒体で検索性が良くない。テーマや日程、曜日でのイベントなどを絞れる検索性があるといい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 原因が、レイアウトなのか、コンテンツなのか分かりませんが、なぜか余り読みたい気持ちになりません。
<ul style="list-style-type: none"> ・ キャッチコメントなど、気にとまる気軽な多世代が興味を持てる構成であるとより良いかと感じます。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 1月号の初心者向けスマートフォン講座について、時間と内容がどちらも同じ表示でわかりにくい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報量が多すぎて見にくくなった。月2回の時の情報量がちょうどよかったし、サイズも良かった。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 市長さん、職員さん、市民の活躍する「姿」「様子」をもっとビジュアル写真で沢山見たい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「市政」なので、市長の言葉だけでなく、市議会の各党派代表の方の言葉も載せて欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 土地勘のない場所は開催場所が分かりにくい。開催場所が車がないと行きにくい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ ページが多いのに情報が雑多でよく分からない部分がある、右開きにしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 特に悪いところはないと思われるが、特別良いかと聞かれると、それもないかと。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 内側がいつも同じ感じでよくわからない、そもそもそんなに開く気にならない。
<ul style="list-style-type: none"> ・ イベントの申し込み方法の欄をもっと見やすくしてほしい。太字にするとか。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 月に1回に減ったので情報が古い。セミナーなどの申し込みを忘れてしまう。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域コミュ情報多すぎる。詳細をWEBページへ誘導して紙面情報減らす。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 居住地の区の情報を取捨選択して増やしたらどうかと思うことがある。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 続けて読める連載物があったらいい、子供が読めるページが少ない。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報掲示板は有効だが、情報が多くて詰め込み過ぎのよう思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 目先を変えることも必要。配布ではなく、メール化も選択にしたら？

・ イラストか写真だったか、そんなに大きくなくて良いと思います。
・ 悪いと思ったことはありませんが、興味深いと思ったこともない。
・ 講座によっては市政だよりが届いた時点で満席のものがある。
・ 紙や印刷の質が良すぎる、予算を有効に活用してもらいたい。
・ 紙質が良いので紙質を下げてコストカットしたほうが良い。
・ なんとなく読む気が起こらない。情報が多すぎるからか。
・ 何でも相談にのってくれる困り事相談を増やしてほしい。
・ 新聞紙と同程度の紙質にしてもよい。経費削減にもなる。
・ 区版のスペースが少なく文面がゴチャゴチャしている。
・ 千葉を地元としない人には、新鮮味があって良いです。
・ 他市町村のものも参考にしてほしい(市原市など)。
・ 市内道路工事施工予告情報が掲載されていない。
・ 情報掲示板のブルーの文字が薄くて見えづらい。
・ 文字が、小さい場所があるので、少し読み難い。
・ 以前に比べ減ってはいるがカタカナ語が多い。
・ 丁寧な情報発信に更なる工夫をお願いします。
・ カラー部分が少し多いように感じられます。
・ この時代に印刷代の無駄のように感じます。
・ ほとんど読まないなので、よし悪しはない。
・ もう少し、紙の使用量が少なくても良い。
・ 気持ちはわかるが市長の写真はいらない。
・ 読んでいても何だか興味がわからない。
・ どこまでの情報を求めるかによる。
・ 関心のある人しか手に取らない。
・ 市政頼りに触れる機会が少ない。
・ 内容的にはまあまあだと思う。
・ 文字が多すぎるページがある。
・ 知りたい情報を探しづらい。
・ 高齢者向けの記事が多い。
・ 用紙が厚くもったいない。
・ 特集の深掘りが浅い。
・ 紙の質が良くない。
・ 旬の情報が少ない。
・ 接する機会がない。
・ ページ数が多い。
・ 子供には難しい。

Q20: 市政だよりの記事で主に読む分野を教えてください。

【その他（26件）】

・ 飼育員さんによる動物園の動物紹介。(3件)
・ 職員募集。(3件)
・ 講座の募集。(2件)
・ 毎号全体を読んでいるので、3つのまでの回答では偏りがでると考える。
・ Q18.Q19の様に、コストを記載したのは素晴らしいと思った。
・ 傾聴ボランティア勉強会等の募集をよく見るようにしている。
・ 千葉の歴史・千葉市の歩みに関する記事。
・ まんべんなく全部に目を通します。
・ すべてのページ拝読しています。
・ 講演会やイベントの開催案内。
・ 特にこれと行って決めてない。
・ 特にパラパラとめくる程度。
・ 無料で運動参加できる企画。
・ 市が開催する各種講座。
・ ほとんど読まない。
・ 公民館活動情報。
・ 特定の分野なし。
・ プレゼント系。
・ コロナ予防。
・ イベント。
・ 募集。

Q22: 本市では、戦争の悲惨さ、平和の大切さを伝えるために、次の事業を行っています。知っていた事業はありますか。

【その他（8件）】

・ 冊子(名前は忘れましたが、きぼーるで配っていたと記憶しています)。
・ 教育の場で、平和教育、特に、第二次大戦の反省などの教育。
・ 戦跡めぐりウォーキングに実際に参加して、勉強になった。
・ 戦跡の掲示板(個人が投稿したYouTube)。
・ このような事業をもっと広報してほしい。
・ 七夕空襲の特集(写真展を見た)。
・ 千葉城近辺での案内板。
・ 通訳ボランティア講座。

Q23: (Q22で「知っている事業はない」以外を回答した方)
Q22で回答した事業を知ったきっかけは何ですか。

【その他 (31件)】

・ 忘れた。(5件)
・ だいぶ前の子供イベント(戦せき巡りと体験講話に参加した)。
・ 覚えていませんが、その言葉は時々聞いて知っていました。
・ 大学の生涯学習講座(千葉の歴史を学ぶ中)で知った。
・ 覚えていないが、日ごろ色々情報源を見ている。
・ 近くの公園(作草部公園の史跡に人が来る)。
・ 市ではなく、施設のホームページだと思う。
・ 市内でのウォーキング情報を探していて。
・ 図書館に行った時に知った気がする。
・ 県知事、神谷市長のTwitterなど。
・ 市政だより読んだような気がする
・ 学校の夏休みの宿題を通じて。
・ 千葉市図書館でパネルを見た。
・ 聞いたことがなんとなくある。
・ 千葉市郷土博物館を見学時。
・ 実際に千羽鶴を折った。
・ 図書館所蔵の関連書籍。
・ 看板を見た気がする。
・ 学校で教わった。
・ 広島出身だから。
・ 事業担当だった。
・ きぼーる展示。
・ ネット検索。
・ ポスター。
・ 図書館等。
・ 区役所。
・ 垂れ幕。

Q25: (Q24で「名称・由来とも知っている」、「戦跡があることは知っていたが、名称・由来は知らなかった」と答えた方)
どこで知りましたか。

【その他 (64件)】

・ 市政だより。(5件)
・ テレビ。(5件)
・ ネット。(4件)
・ 住んでいた。(3件)
・ パネル展で見て知りました。(2件)
・ 何で知ったかわからない。(2件)
・ SNSニュースで知った。(2件)
・ 千葉公園の案内板。(2件)
・ グーグルマップ。(2件)
・ 観光冊子。(2件)
・ 50年前に越してきて居住しているため親や親族から聞いていた。
・ 過去にテレビニュースで報道されているのを見たことがある。
・ 陸軍歩兵学校の兵舎。防空壕・射撃場跡・馬小屋も隣接。
・ 中学の社会科資料集を知人からもらった時に見て知った。
・ 毎年の終戦に関する報道だったような気がする。
・ 何かのパンフやチラシの片隅にあった気がする
・ 千葉公園へ行ったときにたまたま見つけた。
・ 千葉市について調べていた時に知りました。
・ 近くに一つ有ります。検見川公民館そば。
・ 市政だよりか何かで読んだ記憶がある。
・ 知ったきっかけは覚えていません。
・ 現地の看板にある説明書きによる。
・ 講演で聞いたことがあったと思う。
・ 千葉公園内の戦跡しか知りません。
・ 市政だより又は何かの広報誌。
・ ウォーキングの最中に知った。
・ 対象地区に昔から住んでいる。
・ 仕事で調べたことがある。
・ 資料で読んだ記憶がある。
・ 自分が生まれ育った地域。
・ 戦跡に立てられた掲示板。
・ 県知事のTwitter。
・ 大学の生涯学習講座。
・ 千葉市に絡む情報誌。

・ 公民館の歴史講座。
・ 書籍を読み知った。
・ 千葉市郷土博物館。
・ 事業担当だった。
・ 新聞の記事など。
・ 本で読みました。
・ チバテレビ。
・ 講演会等で。
・ メディア。
・ 新聞報道。
・ 図書館。

Q27: 本市では、戦後80年(2025年)に向けて、平和に関するデジタル資料を市ホームページに展示する「デジタル平和資料館(仮称)」の開設を検討しています。どのようなコンテンツがあったら利用したいと思いますか。

【その他 (29件) 】

・ 戦跡紹介はYouTubeで流してほしい。(2件)
・ ネガティブな表現でなく、戦争がないポジティブな表現紹介の平和で豊かな未来に関する情報提供もあると良い。
・ 戦争と言うと必ずその悲惨さ一辺倒になりがちだが、そうならない為に何が必要なのか考える資料にして欲しい。
・ 戦争回避に関し、政治中枢に対して不満と不信感が強く高まっていますが、それに対抗する術が分かりません。
・ 多忙なため、利用する予定はないが、学校や市役所のロビーなど大勢が集まる場所で流したらどうでしょう。
・ 被害の歴史中心ではなく、千葉の部隊が他国を人々を苦しめた加害の歴史も同時に知らせていくべきである。
・ 攻撃を受ける可能性を下げる戦略・戦備等の紹介(多分不採用でしょうが、本当は最重要と考えます)。
・ 「悲惨さ」も大事だが、戦争をせずに他国とうまく外交する方法など建設的な特集があればいい。
・ 戦争＝怖いというメッセージだけでは若者に訴求しにくいかと思います。新しい視点が必要かと。
・ 平和の意味の啓蒙。ウクライナ戦争から思うに、自分だけの観念では平和は保てないと実感した。
・ デジタルコンテンツを利用する端末を高齢者に配布して無料で使えるよにするべきではないか。
・ 再び戦争を起こさないため、なぜ戦争に突き進んだか。誰が推し進めたかなどを明らかにする。
・ 以前拝見した学生さんの軍事教練の写真は同世代のとき見て身近に感じられてよかったです。
・ 特に次代を担う子供たちに、教育課程の中でアニメや漫画を通して学んでいただきたい。
・ 何十年も住んでいながら不勉強でした。資料を拝見できれば学習させていただきたく。
・ 大東亜戦争に限らず戦争が起きる「原因」を歴史から学べるコンテンツ。
・ デジタルコンテンツを利用出来る環境が無い人はどうしたら良いのか。

・ 著名人を起用した紹介HP。ふなっしーとか。HPの作り込みが大事。
・ 戦時中の食べ物、戦後の配給、戦争への女性の関わり方。
・ インターネットで、自宅閲覧できれば便利なのですが。
・ 戦争が起きた、背景、理由、体制など伝える。
・ 世界情勢における日本の立ち位置の紹介。
・ 伝える視点が重要(偏見のない普遍性)。
・ やはりデジタルより展示だと思う。
・ 戦争は怖い、見たくないです。
・ グーグルマップとの連携。
・ AEONで写真展等。
・ 体験者の話、経験談。